



小さなまちのこれからを考える

『中央集権』から『地域主権』へ

「どんなに人口が少なくとも、どんなに財政力が小さくとも、そこで生き抜こうとしている住民とその代表機関があるかぎり、その意思を尊重し、艱難を承知の上で地域の自治を続けていこうとするならば、そうした町村の存在を認め、その努力を励まし支援する、そういう政策こそ国は求められている。」これは、今回の講師である大森彌(おおもり わたる)さんのご発言です(H20.8.15 自治日報掲載)。

地域のことは地域に住む私たち住民が決める。国では今これを「地域主権」といい、今後多くの改革を進めようとしています。

中央集権といわれる国と小さな町の関係が「地域主権」によりどのように変わるのか。私たちの生活にどのような変化があるのか。

市町村合併の議論が一段落した今、私たちのような小さな町の将来について講演会を開きます。

とき 2月15日(月) 午後6時から 7時40分まで

ところ ニセコ町民センター 2階一般研修室

(<http://www.town.niseko.hokkaido.jp/shisetsu/community.htm#cyomin>)



プログラム

18:00

講演

『(仮称)小さなまちのこれからを考える』

講師 大森 彌さん(東京大学名誉教授)

硬い話題も、とてもわかりやすく、記憶に残るお話をしてくださる方です。

19:15

トークセッション

『小さなまちのこれからを考える その2』

大森 彌さん(東京大学名誉教授)

片山 健也 (ニセコ町長)

申込不要です
気軽にお越しください!

参加無料

大森さんの略歴

1940年生まれ。東京大学名誉教授。

元東京大学教授・元千葉大学教授。専門は行政学・地方自治論。

地方分権推進委員会専門委員、日本行政学会理事長、自治体学会代表運営委員などを歴任。現在、全国町村会「道州制と町村に関する研究会」座長な、社会保障審議会介護給付費分科会会長、NPO 地域ケア政策ネットワーク代表理事など。日本の介護保険制度の生みの親のひとり。

主催 ニセコ町

お問合せ ニセコ町企画課経営企画係 担当: 山本・齊藤 電話 0136-44-2121

E-mail: kikaku@town.niseko.lg.jp